



ありがとうございます

12月中旬も過ぎ、冬の寒さを感じます。とりわけ、朝夕の冷え込みは厳しいですね。朝、子どもたちの登校の時、見守り隊の方々、お巡りさんと一緒に森本神社の前で待っています。眼鏡の不便さをこの時期は感じます。マスクをしていることもあり、眼鏡は白いサングラス状態です。子どもたちの表情がサングラス越しで見えにくいなと感じている中、寒さを吹き飛ばす元気なあいさつが響いてきます。子どもは、風の子。元気いっぱいです。こうした登校風景の中、うれしい一コマがあったので、先日の全校集会で話をしました。

ありがとうございます

いい言葉ですね。

校長先生は、朝、森本神社でみんなと「おはよう」とあいさつして、一緒に坂を上っている時、いろんなことを考えます。歩いている後ろ姿を見ながら、ランドセルにっぱい袋をつけていて、大変だなあと思う時もあるれば、坂道を楽しそうに上がっている姿を見ると、今日は楽しみなことがあるんだなあ・・・などなど。

その中で、柴山の子どもたちは、雨が降る時の準備がしっかりしているなど、いつも感心しています。雨がまだ降っていないなくても、空模様が怪しい時は、長靴を履いてきますね。また、その時は、ランドセルにチョココンと上手に傘をかけています。でも、天気は予報通りとは限りません。帰る時に雨が降って、学校の黄色い傘を借りて帰ることがあります。その次の日、ランドセルにチョココンとかけたり、手にもって登校してきたりする姿を見て、そういえば、昨日帰る時、雨が降っていたなあと思い返します。

そして、児童玄関に入り、その黄色の傘を傘立てに返すとき「ありがとうございます。」「ありがとうございました。」と言って返すあなたたちを見て、とっても気持ちがよくなります。借りたものを返すときに、きちんと、自然にその言葉が出てくる。素晴らしいです。心が温かくなります。朝一番の素敵なプレゼントをいただきました。



そのことがうれしくて、みんなに話したくてお話をしました。

2学期の終わりを迎え、1、2学期の本校が進めている教育活動の振り返りのひとつとして、子どもたちに「おしえてアンケート」をとりました。その中で「ふるさと柴山は好きですか」の問いに対して、「好き」が92%、「どちらかといえば好き」が8%という回答が返ってきました。合わせて100%です。その理由が書かれているものを見ると、海や山の自然の美しさと豊かさ、魚やカニがおいしいという食の恵みなど、ふるさとのよさを身近に実感していることがうかがえました。理由の中で、とりわけ多くの子どもたちが、表現の仕方は様々

ですが、「人がやさしいところ」と書いていました。地域の皆様、保護者の皆様に温かく包まれているから、「ありがとうございます」という言葉が子どもたちの口から自然に出てくるんだとわかりました。ふるさと柴山のすばらしさを感じました。

令和3年も、新型コロナウイルスの不安が続いていますが、子どもたちは、元気で無事に1年の締めくくりができそうです。「ありがとうございます」と感謝したいです。25日から冬休みとなり、学校園から地域、ご家庭が子どもたちの生活のステージとなります。大みそかの日には、令和3年を終えることに「ありがとうございます」とご家族で言葉を交わされて新年を迎えていただきたいと思います。

全国学力・学習状況調査から

本年度の結果をもとに、2学期から取り組んでいます。

児童質問紙より ○・・・良い ●・・・課題

○ほぼ規則正しい生活を送っている。

○話し合いは大切とみんなが自覚し、積極的に参加している児童が多い。

●読書の時間が全体的に短く、新聞（社会）に触れる機会に個人差が見られる。

●まじめに取り組むが、教科で学んだことが生活に役立つという実感があまり持っていない。

学力調査より ※全国平均正答率を基準とした時、±5.0%を同程度と考える

【国語】同程度 【算数】下回る

計算・漢字の読み書き等基礎・基本となる力は定着している。国語では、理由を尋ねられたり、説明をまとめたりする書き込む問題がきちんとできている。筆者が伝えたいことを考えて文章を構成している点を捉える点が少し不確かであった。算数では、計算や基礎的なグラフの読み取りはできている。図形の要素をしっかりと把握して解決すること、文章からわかったことをもとに順序立てて解決し説明することに課題がみられた。

結果を踏まえての具体的な手立て

- ・朝学習では、領域をバランスよく計画的に進めて基礎をしっかりと定着させていく
- ・授業では、「めあて」をはっきり示し、どう取り組むかを考え（「見通し」）、解決に向け学習し、授業の終わりに「めあて」についてわかったこと・考えたことをまとめる（「ふり返し」）。この「見通し」と「ふり返し」を自分一人で取り組む時間を十分にとり、大事にする。
- ・問い返しや対話する学習活動を通して自分の考えを明確にして最後まで説明できる力を付ける。
- ・家庭学習では、バランスを考えながら毎日、音読・漢字・計算・自主学習を出す。翌日の提出を徹底し、間違えた問題、わからなかった問題は、その日に直し、わかるよう指導する。

よいところはさらに伸ばし、課題は確実にステップアップ！

継続は力なり。3学期も実態をしっかりとつかみ、改善し取り組んでいきます。

最後に、改めましてお礼を申し上げます。令和3年も見通しがつきにくい1年でした。感染不安を抱えながら、学校園の諸活動を変更・縮小・中止等、ご迷惑をおかけしました。どんな時でも、保護者、地域の方々のご理解が心強い支えとなり、無事に終えることになりました。ありがとうございました。令和4年もよろしく願いいたします。

（文責 中田 斉）